

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
国際看護学総論	3年次 前期	必修	講義	1単位（15時間）	小林 房代 ※
授 業 概 要					
<p>グローバル化が進み、各国の成長は相互に影響を及ぼし合い1つの国の成長だけではおさまらない状況にある。世界の健康課題、国際協力のしくみ、多様性に関して理解を深め、地球の持続可能な開発の達成に向けて行動できる基礎知識を得る。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際看護学の定義と意義を理解する。</li> <li>2. 保健医療・健康・看護の格差の現状、格差を引き起こしている要因を理解する。</li> <li>3. 国際協力のしくみを理解する。</li> <li>3. 他国の文化・習慣・国民性・民族性・看護事情について関心を示し、多様性を認める。</li> <li>4. 看護の国際協力の理念と組織、具体的な国際看護・保健活動について理解する。</li> </ol>					
実務経験のある教員					
小林 房代：自身の国際交流・国際支援活動の経験を踏まえて、国際看護について教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際看護学とは <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国際交流論（1年次）の復習</li> <li>2) 国際看護学の定義</li> <li>3) 国際看護学に関する基礎知識</li> </ol> </li> <li>2. グローバルヘルス <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 保健医療分野の開発理念の変遷</li> <li>2) 世界の健康問題の現状 （課題：世界で起きている事案（災害、紛争、難民、感染症等））</li> </ol> </li> <li>3. 国際協力のしくみ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国際機関（課題：主な国際機関の機能・役割）</li> <li>2) 開発協力</li> </ol> </li> <li>4. 文化を考慮した看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 文化を考慮した看護理論</li> <li>2) 日本における在日外国人への看護の実際（課題：在日外国人への看護）</li> <li>3) 看護師の国際的な移動</li> </ol> </li> <li>5. 開発協力と看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 開発協力の概況と健康</li> <li>2) 開発協力における保健医療福祉の概念と看護</li> <li>3) 開発途上国と看護</li> </ol> </li> </ol>				小林 房代 ※
学 習 方 法					
講義 提示した課題についてレポートを提出する。					
評 価 方 法					
科目修了試験 レポート					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕  系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践〔3〕 災害看護学・国際看護学  日本赤十字社 事務局看護部 医学書院</p>					